

ユーザーズマニュアル

リリアン編み機
TSK-1



まえがき

このユーザーズマニュアルは、本製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。内容を理解されたうえでご使用ください。

本書は、詳細において本製品の仕様と異なる場合があります。ご不明点がございましたら、販売代理店までお問い合わせください。

株式会社 **TISM**

安全上のご注意

本製品をお使いになる人や他の人への危害、損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を以下のように表記します。



誤って取り扱おうと、死亡あるいは重傷^[*1]となる危険性がきわめて高い注意事項




誤って取り扱おうと、死亡あるいは重傷^[*1]となる可能性のある注意事項





誤って取り扱おうと、軽傷^[*2]を負う、または物的損害が生じる可能性のある注意事項

*1: 感電、けが、骨折などで後遺症をもたらす、および治療に入院や長期の通院を要するもの。

*2: 治療に入院や長期の通院を要さないもの。

: 禁止事項

: 守らなければ感電するおそれのある事項

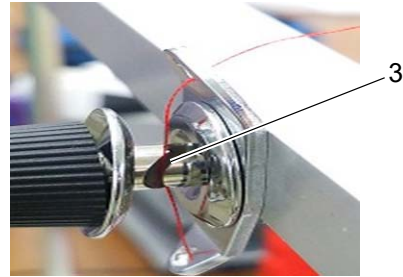
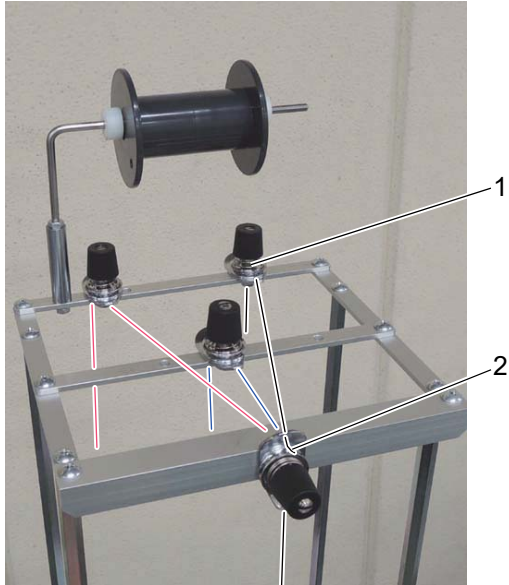
: 安全のために守っていただきたい事項

1.	紐編み機の組立て	1
1-1.	糸通しの手順	1
1-2.	編み針の交換	4
1-3.	本体の編み針の仕様	5
1-4.	電気仕様	6
1-5.	付属部品	6
2.	紐編み機の調整におけるポイント	7
2-1.	編み針の位置	7
2-2.	ヘッドの回転状態	8
2-3.	手で糸を編み針に絡ませるときのポイント	9

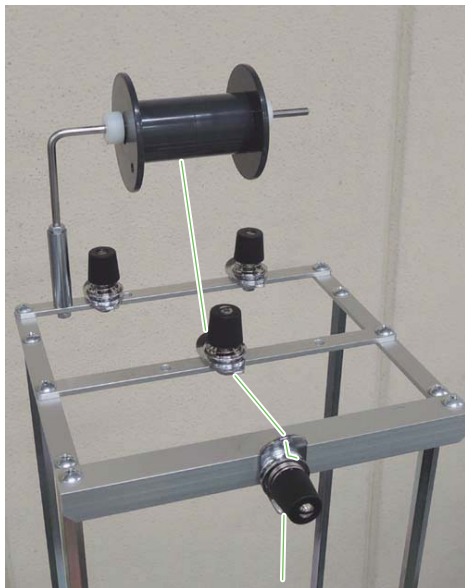
1. 紐編み機の組立て

1-1. 糸通しの手順

1. 糸を第一テンション1と第二テンション2に通します。
糸を第一テンション1と第二テンション2に通すときは、スリット3に糸を通してください。

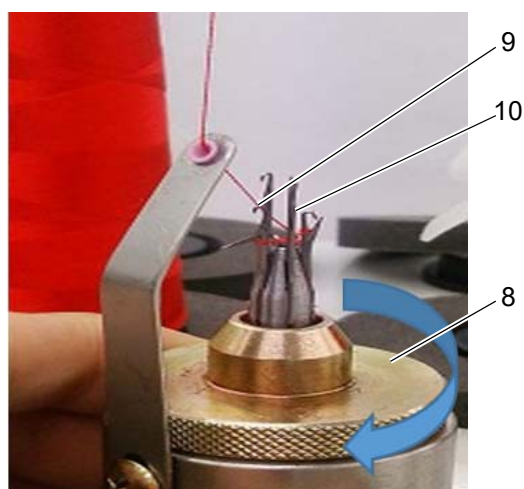
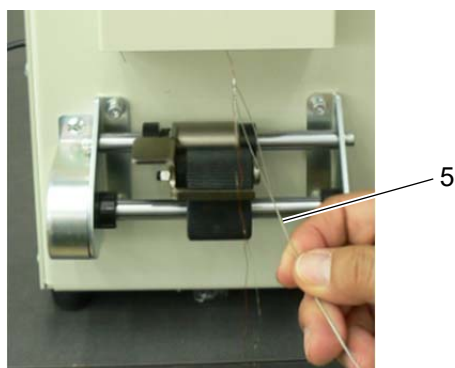


ラメ糸の場合

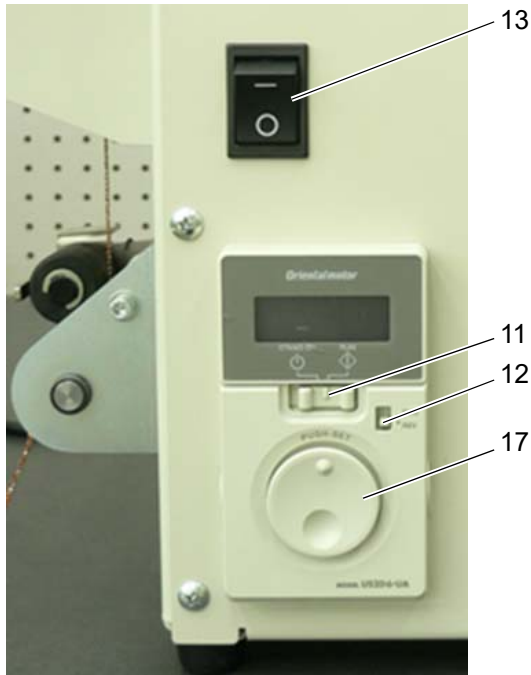




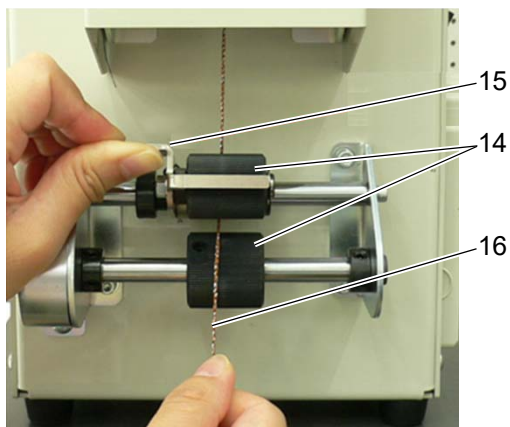
- 次にガイド 4 に通します。
- ガイド 4 に通した糸を糸通し 5 を使用して、ヘッド内部 6 に通します。
- 糸通し 5 をヘッド底部の吐き出し口 7 から引き出し、糸をたぐり寄せます。



- ヘッド底部から引き出した糸を下に軽く引っ張りながら、手でヘッド 8 を時計方向に回転させ、糸 9 を全ての編み針 10 に絡ませます。
すべての編み針 10 に糸がしっかりと絡まるよう、10 回以上はヘッド 8 を回していただき、すべての編み針 10 に常に糸 9 が絡まっているかをご確認ください。

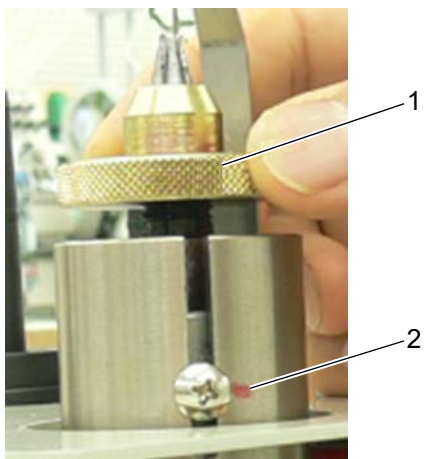


6. スピードコントロールのスイッチ 11 が右側位置 (ON)、スイッチ 12 が下側位置であることを確認後、糸を下に軽く引っ張りながら、電源スイッチ 13 を入れます。
送りローラの回転速度 (スピードコントローラのデジタル表示) の工場出荷時は、25 rpm です。

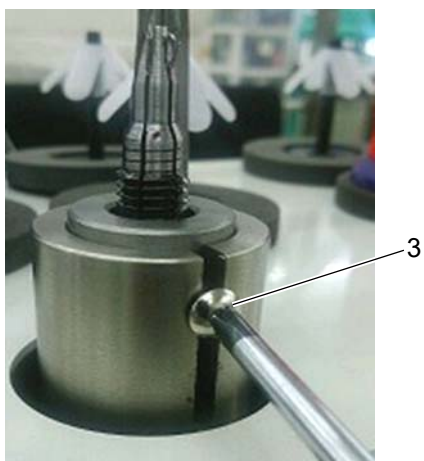


7. 編み機本体ヘッド 8 (前ページ) および送りローラ 14 が回転して紐を編んでいきます。
このとき、引っ張っている糸を緩めると、編み針部で糸が絡まりますのでご注意ください。
8. 編み紐が送りローラ 14 に届く程度まで編んだら、レバー 15 を持ち上げて、紐 16 をローラ 14 に通します。編み紐の出来上がる速度に合わせて、送りローラ 14 の回転をスピードコントロールのダイヤル 17 を回して調整します。
スピードコントロールのデジタル表示目安は 20~30 rpm です。
スピードコントロールのスイッチ 11、12 の位置は変更しないでください。ローラが逆転するなど不具合の原因になります。

1-2. 編み針の交換



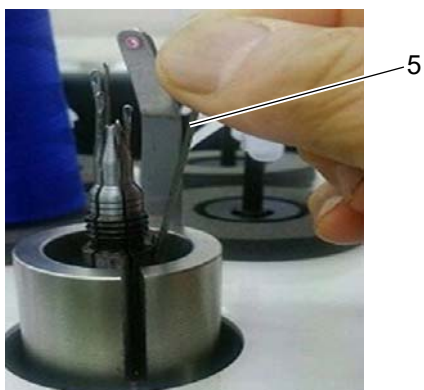
1. ヘッド部のローレット 1 を手で緩めます。
ヘッド内の上カムを取り外す前に、上カムの取付ネジ位置にペンでマークして取付位置 2 を確認します。

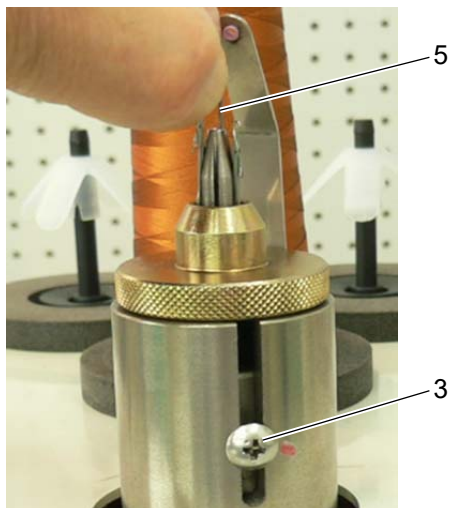


2. 取付ネジ 3 を緩め、上カム 4 を取付ネジ 3 と一緒に持ち上げ、外します。

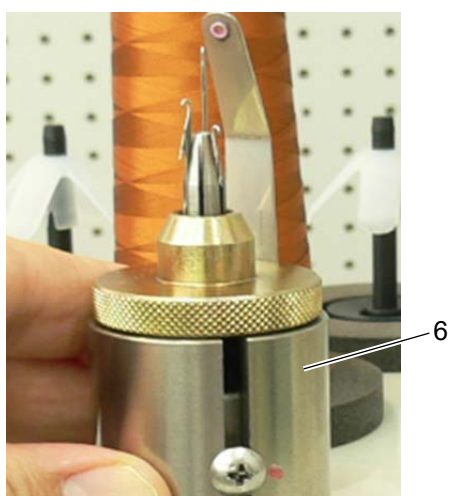


3. 編み針 5 を抜き取り交換します。





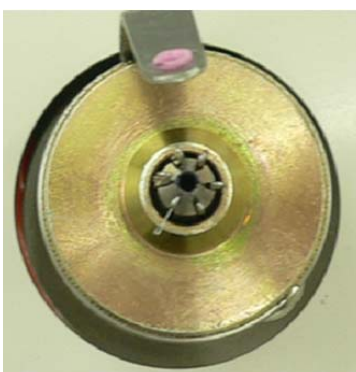
4. 上カムを元の位置に戻し、取付ネジ3で固定した後、編み針5に少しだけ遊びがあること（遊びが多すぎても良くありません）、およびヘッド6を手で回しスムーズに回転するかどうかをチェックします。



1-3. 本体の編み針の仕様



3本針



6本針

ローレットを外した状態



1-4. 電気仕様

- 紐編みモータ：インダクションモータ 25W (単相 110/115V、または 220/230V)
- 紐編み機本体回転速度：1300 rpm (60Hz)
- 紐送りモータ：インダクションモータ 6W ギヤヘッド (1/50) スピコン付
(単相 110/115V、または 220/230V)
- 紐送り軸回転速度：2~30 rpm (60Hz)

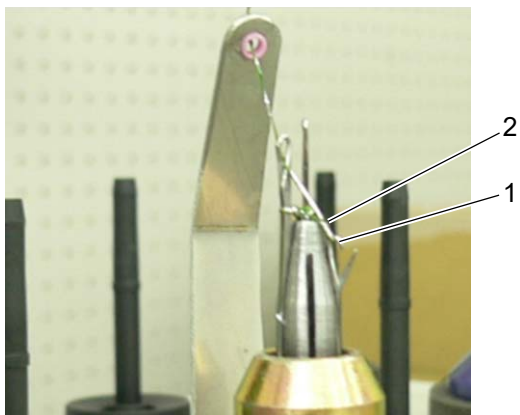
許容電圧範囲	定格電圧の ±10%以内
周波数	50/60Hz
皮相電力	100~120V: 60VA 200~240V: 65VA
有効電力	100~120V: 50W 200~240V: 63W
絶縁抵抗	10M オーム以上 (500 メガ—絶縁抵抗計)
短絡電流定格	3A

1-5. 付属部品

- 糸通し 1本
- 編み針 9本

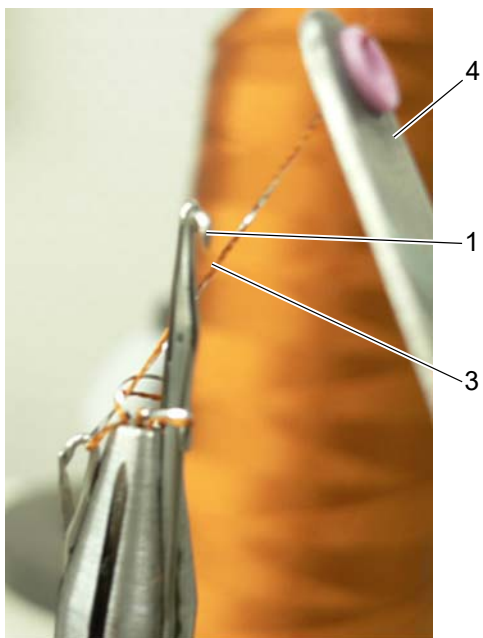
2. 紐編み機の調整におけるポイント

2-1. 編み針の位置



編み針 1 が一番下がった状態で、ヘッド 2 の頂上より約 1 ～ 2 mm 下がった位置になるのが理想的です。

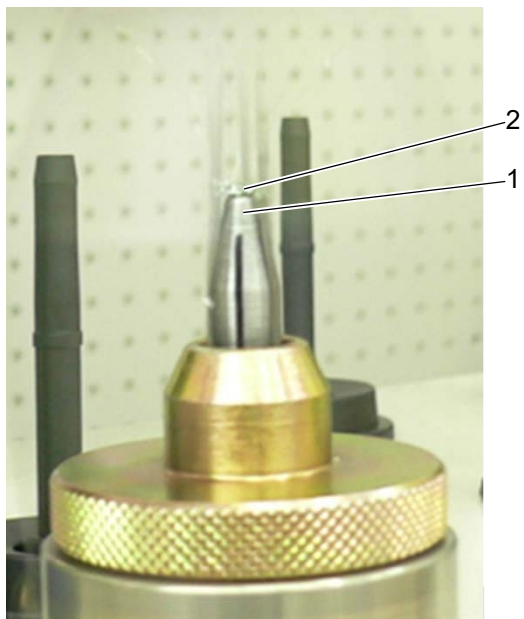
ヘッドの頂上を拡大



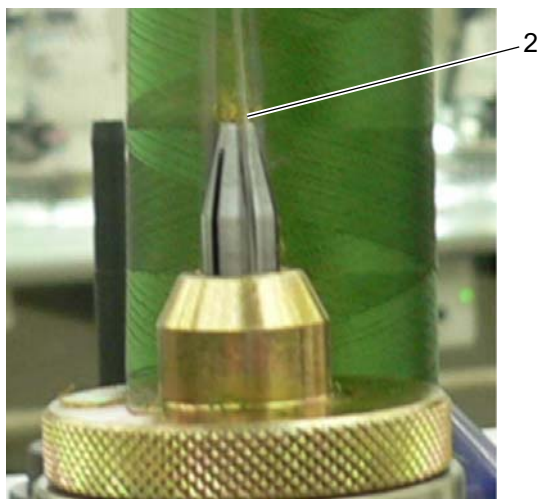
編み針 1 が最上にきた位置で、糸 3 が編み針にしっかりと絡むようガイド 4 の位置を調整してください。

使用する糸の種類と組み合わせで編み加減が変わりますので微調整が必要です。

2-2. ヘッドの回転状態

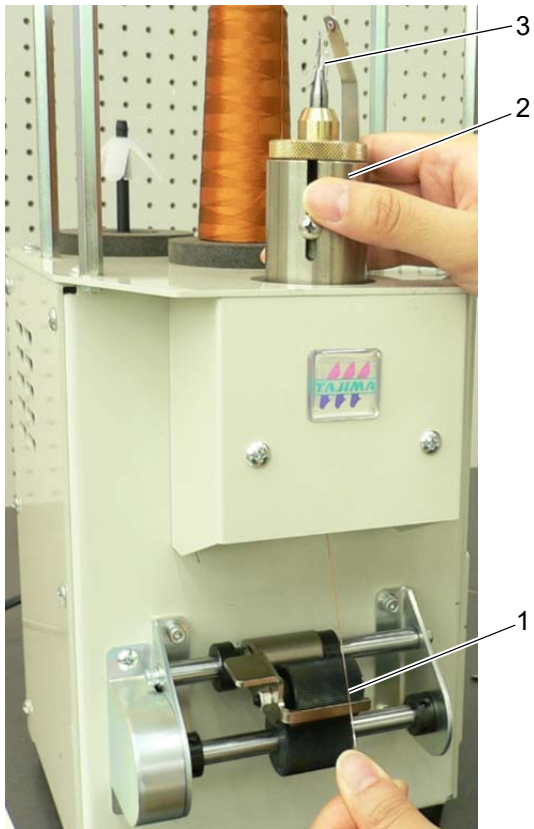


写真は、ヘッド1が回転している状態です。ヘッドの頂上に糸2が平たく見える程度が良好な状態です。

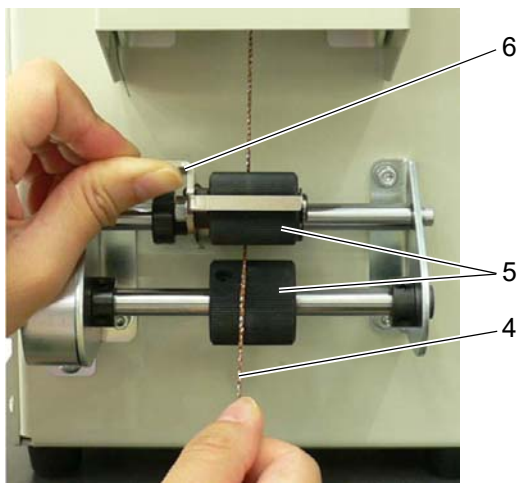


糸2がこの様に盛り上がって見えますと、糸切れが発生する手前ですのでご注意ください。

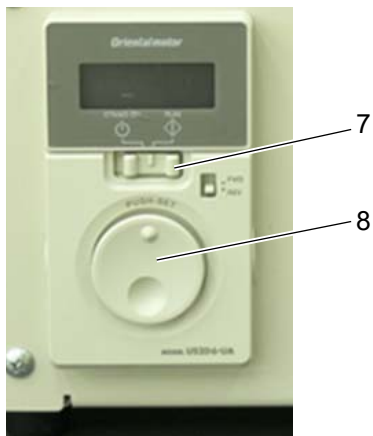
2-3. 手で糸を編み針に絡ませるときのポイント



1. ヘッド底部から引き出した糸 1 を下に軽く引っ張りながら、ヘッド 2 を手で回しながら糸を編み針 3 に絡ませます。
すべての編み針 3 に糸がしっかりと絡まるよう、10 回以上はヘッド 2 を回していただき、すべての編み針 3 に常に糸が絡まっているかをご確認ください。
2. 次に、電源スイッチを入れて編み目がローラに届く程度まで編んでいきます。その際も、糸を下に軽く引っ張りながら編んでください。



3. スピードコントローラスイッチ 7 を入れ、紐 4 が上手くできるかを確認した後に、ローラ 5 に、レバー 6 を持ち上げて紐を挟んでください。
ローラ 5 の回転速度調整は、回転速度調整ダイヤル 8 を回してください。



初版 2019年1月
2版 2019年5月

■製造元：株式会社 **TISM**

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町1800番地
TEL：(0568)33-1161 (代表) FAX：(0568)33-1191

■販売元：タジマ工業株式会社

住所：〒486-0901 愛知県春日井市牛山町1800番地
TEL：(0568)37-1130 (代表) FAX：(0568)37-1230

本書の一部または全部を無断で複製、転載、改編することを禁止します。